

東海国立大学機構イノベーションコアファシリティセンター研究協力技術部門  
(化学分野) 学術専門職 (高度技術専門人材) 募集について

東海国立大学機構イノベーションコアファシリティセンターでは、機構全体の共用研究設備・機器を一元的に統括するコアファシリティを設置し、機構の全ての研究者及び学生に優れた教育・研究環境を提供する研究支援業務を行っています。本公募では、コアファシリティのマネジメントを担当する方を募集します。

1. 募集の目的

「技術の力で、日本の研究力を再興させる。」

現在、日本の研究力の相対的な低下が危急の課題となっています。科学技術が社会にイノベーションをもたらし、未来を切り拓く源泉であることは疑いようもありません。しかし、研究現場の複雑化・高度化が進む中、研究者がその能力を最大限に発揮し、世界をリードする成果を生み出し続けるためには、強力かつ組織的な研究支援・研究協力体制が不可欠です。

東海国立大学機構は、この課題に対し、研究設備・機器の一元的な共用化と高度化を担う研究基盤「コアファシリティ」を設置し、東海国立大学機構、ひいては我が国全体の研究力を抜本的に強化することを目指しています。

本公募の目的は、単に実験の一部を代行する人材を募ることではありません。「専門技術 (Methodology)」を磨き、深化させ、それを「研究支援」という形で社会に還元することで、日本の研究力を再び世界トップレベルへと引き上げたい。そんな大きな使命感を持ち、科学の再興を共に成し遂げるための「高度技術専門人材」を募集します。

深い専門知識を武器に、研究者のパートナーとして議論し、新たな手法を開発し、次世代の技術基盤を構築する。あなたのその「技術」と「情熱」こそが、日本の科学の未来を変える鍵となります。

ぜひ、私たちと共に、東海国立大学機構から日本の研究力強化と科学の再興に向けた一歩を踏み出しませんか。

2. 所 属

国立大学法人東海国立大学機構イノベーションコアファシリティセンター研究協力技術部門 (化学分野) ※R8.4.1 設置

3. 募集人員

学術専門職 (高度技術専門人材) 1名

4. 職務内容

【雇入れ直後】

1) 東海国立大学機構イノベーションコアファシリティセンターにおいて、専門技術を活かした研究支援・研究協力業務

2) 同センター研究協力技術部門における、化学分野チームリーダーとしてのマネジメント業務

【変更の範囲】

## 東海国立大学機構が指定する業務

5. 採用予定 令和8年6月1日以降できるだけ早い時期
6. 勤務形態 常勤（任期：令和9年3月31日まで）  
・雇用期間満了時に更新基準に基づく評価の上で、年度毎に更新する可能性あり。  
※業務処理、判断・対応、責任感、勤務態度、協調性、法令規程等の遵守及び法人の予算、業務量等により判断。  
・ただし、更新する場合も、最長令和10年3月31日まで。  
・最終雇用年齢は65歳に達した年度の3月31日まで。
7. 応募条件 1) 理系分野（特に機器分析・有機合成化学・構造有機化学・有機金属化学・天然物有機化学等の分野）の研究経験・専門知識・技術を有し、大学院修了または同等の能力・経歴を有する方。 ※博士号取得者を優先します。  
2) 研究支援・研究協力業務への関心が高く、研究支援者として研究推進と研究力強化に意欲を持って取り組める方。  
3) 技術分野におけるチームリーダーとしての経験、または資質を有する方。  
（自らの業務遂行に加え、メンバーの指導・育成や協働ができること）  
4) 高い協調性とコミュニケーション能力を備え、他部門等と積極的に連携できる方。  
・ただし、次のいずれかに該当する者は受験できません。  
ア) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者、その他その執行を受けることがなくなるまでの者  
イ) 国家公務員又は国立大学法人等の職員として懲戒解雇又はこれに相当する処分を受けたことのある者で、その処分の日から2年を経過していない者
8. 具体的な業務内容 本ポジションでは、化学分野の「マネジメント業務」と、専門性を活かした「高度技術支援（R&D支援）」の両面を担っていただきます。  
  
1) 研究協力技術部門（化学分野）のマネジメント業務  
①令和8年11月竣工予定の「LYKEION 研究棟（仮称）」における、化学分野専用実験室等の設営への参画  
②研究協力・研究支援計画の企画・立案  
③化学分野の人材採用および人材育成等計画の企画・運営  
④研究基盤マネジメント部門、研究協力技術部門（他分野）、各研究室、産学官連携部門、他大学等との連携  
⑤研究協力・研究支援に係るアウトリーチ活動  
  
2) 専門技術を活かした研究協力・研究支援（例）

※単なる測定代行等ではなく、支援に必要な技術・手法の改良や開発を含みます。

① 機器分析による有機化合物・有機金属化合物の構造解析

NMR、質量分析計、分光光度計、発光分光計、X線構造解析装置、電子顕微鏡などの機器分析を用いた有機化合物・有機金属化合物などの構造解析。これらの装置における試料調整方法や測定方法の検討による分析手法の開発。測定対象とする化合物は低分子のものから高分子のものまでを対象とし、これまで測定が困難であった化合物の測定方法の開発なども行う。得られた測定結果の解析に関する技術相談。

②有機化合物・有機金属化合物の合成や精製による供給

工程数が少ない有機化合物・有機金属化合物の大量合成によるサンプル供給。カラムクロマトグラフィー、分取HPLC、再結晶などを用いた化合物の精製による高純度サンプルの供給。有機化合物・有機金属化合物の合成計画や精製方法に関する技術相談。

③既製装置で出来ないことを可能にする装置カスタマイズと測定

市販の測定装置では対応できない特殊測定（不活性雰囲気下での機器分析、反応追跡のための機器分析など）のためのオリジナル装置の作成と測定。

【上記以外の技術をお持ちの方へ】

上記はあくまで例示であり、これらに限らず、物質化学研究の推進に資する高度な専門技術をお持ちの方を広く歓迎します。

(※いずれの業務においても、研究支援に必要とされる高度な専門技術の方法論(Methodology)の実践と深化に取り組んでいただきます。)

3) その他、上記業務に付随する業務

※着任後に関係者と協議し、上記のうち可能なところから業務をはじめていただきます。

9. 勤務場所

【雇入れ直後】東海国立大学機構イノベーションコアファシリティセンター（愛知県名古屋市千種区不老町）

【変更の範囲】東海国立大学機構が指定する場所

10. 勤務条件

- 1) 勤務時間 月～金曜日の週5日勤務 午前8時30分～午後5時15分
- 2) 休憩時間 12時～13時
- 3) 休日 土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 4) 有給休暇 年次有給休暇、リフレッシュ休暇など
- 5) 加入保険 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 6) 給与 東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程において

定める年俸制とする。上限年俸額504万円（月額42万円）

7) 通勤手当 支給（支給要件有、上限150,000円/月）

8) 受動喫煙措置 原則としてキャンパス内は喫煙禁止

11. 選考方法

書類選考の上、面接を実施します。

12. 提出書類

1) 履歴書

（様式自由、電子データも可。メールアドレスを記載し写真添付のこと。学歴は高校卒業から記入すること。）

2) 志望動機と抱負

（様式自由。A4用紙1枚以内で記述すること。）

3) 実務経歴書（様式自由。自身が携わった研究テーマ、自身が有する専門技術や、業務経験の具体的な内容についてA4用紙2枚以内で記述すること。）

4) 研究業績リスト（様式自由）

5) 応募者について照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先

6) 様式1「類型該当性の自己申告書およびフローチャート」

（以下から様式をダウンロード願います。）

<https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/B8MBw36GBwBkEiN>

※様式1「類型該当性の自己申告書およびフローチャート」の提出について

2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当性判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。

13. 応募期日

令和8年5月29日（金）

（面接審査は令和8年4月22日以降随時実施し、採用定員に達した時点で募集を終了いたします）

14. 応募書類送付先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

東海国立大学機構名古屋大学研究協力部研究組織支援課人事グループ

TEL：052-558-9736

E-mail：[tcnu-jinji@t.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:tcnu-jinji@t.mail.nagoya-u.ac.jp)

※郵送の場合、封筒に「学術専門職（高度技術専門人材※化学分野）応募書類在中」と朱書きし簡易書留でお送り下さい。

電子データの場合、上記の書類を1つのフォルダにまとめて圧縮するなどして上記E-mailアドレスへご応募下さい。

15. その他

1) イノベーションコアファシリティセンター及び関連する各大学の全学技術センターの概要等については、下記のホームページを参照ください。なお、令和8年4月1日付で統括技術センターからイノベーションコアファシリティセンターに改組いたしました。

イノベーションコアファシリティセンター <https://www.tech.thers.ac.jp/>

岐阜大学全学技術センター <https://tcgu.gifu-u.ac.jp/>

名古屋大学全学技術センター <https://www.tech.nagoya-u.ac.jp/>

2) 具体的な職務内容に関する問い合わせ先

東海国立大学機構イノベーションコアファシリティセンター

研究基盤マネジメント部門 部門長 古賀 和司

TEL : 052-789-4110

E-mail : [koga.kazushi.v3@f.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:koga.kazushi.v3@f.mail.nagoya-u.ac.jp)

3) 応募書類は原則として返却しませんので、予めご了承下さい。提出していただいた書類は、本選考のためだけに使用し、それ以外には利用しません。

4) 面接に要する諸費用は支給しません。

16. 募集者

国立大学法人東海国立大学機構